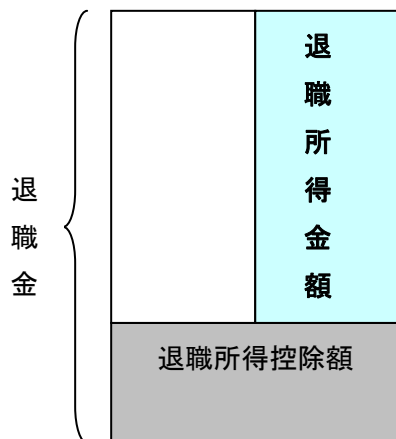


税金5：退職金にかかる税金

●退職金に課税される所得税とは

退職金のすべてに課税されるわけではありません。**総支給額から退職所得控除額を差し引いた金額のさらに2分の1に課税**されます。

$$(\text{退職金} - \text{退職所得控除額}) \times 1/2 = \text{退職所得金額}$$



この部分だけに
税金がかかります！

◆退職所得控除額の速算表◆

勤続年数（※1）	退職所得控除額（※2）
20年以下	勤続年数×40万円「80万円に満たない場合は80万円」
20年超	（勤続年数－20年）×70万円＋800万円

※1：入社日から退職日までの勤務期間（1年未満の端数は切り上げて1年とする）

※2：障害になったことにより退職した場合には、100万円加算

●退職金に課税される所得税の計算式

退職金は給料などほかの所得とは分けて税金を計算します。**退職所得金額に税率をかけて計算**をしますので、以下の速算表に当てはめて計算すると簡単です。

◆退職所得の源泉徴収税額の速算表（平成18年1月以降）

退職所得金額（A）	税率（B）	控除額（C）	税額＝（A）×（B）－（C）
3,300,000円以下	10%	—	（A）×10%
3,300,000円超 9,000,000円以下	20%	33万円	（A）×20%－33万円
9,000,000円超 18,000,000円以下	30%	123万円	（A）×30%－123万円
18,000,000円超	37%	249万円	（A）×37%－249万円

（注）1：退職所得金額（A）に1,000円未満の端数があるときは切り捨て

2：求めた税額に100円未満の端数があるときは切り捨て

●退職金に課税される所得税の計算例

事例を元に退職金に課税される所得税を計算してみましょう。

	勤続240ヶ月（＝20年）	勤続241ヶ月（＝21年）
退職金	2,000万円	2,000万円
退職所得控除額	20年×40万円＝800万円	（21年－20年）×70万円＋800万円＝870万円
退職所得金額	（2,000万円－800万円）×1/2＝600万円	（2,000万円－870万円）×1/2＝565万円
税額（所得税）	600万円×20%－33万円＝ 87万円	565万円×20%－33万円＝ 80万円

勤続年数が1年違うと、所得税は7万円違います